

オリエンタ、VC 正員・松本健二郎

“ “ “ 小宮山登夫

“ “ “ 辻 光弘

1. 昭和54年8月1日から1ヵ月間にわたり、愛知の県立青少年公園において「世界と日本のこども展(国際児童博)」が開催された。本稿は、国際児童博の開催に先立ち実施された「来場者予測のためのアンケート調査」について報告するものである。すなわち、アンケート調査をもとに求められた来場者の予測値と開催期間中の実績値と対比させることにより、来場者の予測方法について検討を加えたものである。

2. 来場者数は、バスの運行計画、マイカーの駐車場対策等の基礎データとなるものであり、予測にあたり留意した来場者の交通特性は次のとおりである。(1) 来場者数は、開催される行事の内容および行事に対する広域流動により変化する。(2) 来場者の到達経路は、会場周辺の交通情報一般によく知られていないことにより、必ずしも最適経路を選択するとは限らない。(3) 来場者の交通手段は、マイカー利用が多数のもので予測されているが、マイカー利用と駐車場の容量により制御され、来場者数と関連して複雑に変化するものと思われる。(4) 来場者の予測は、極めてミクロ的なものであり、しかも高い精度を必要とする。

3. 来場者数を予測するために実施したアンケート調査の概要は、次のとおりである。(1) 調査地域は、青少年公園を中心に半径60km以内を対象とした。(2) 調査は、小中学校を通じ小中学生の保護者にアンケート用紙を配布し、後日回収する方法を用いた。(3) 配布した小中学校は、小学校23校、中学校2校であり、調査地域の地味特性を考慮して選択した。(4) アンケート用紙の配布枚数は2,000枚であり回収枚数は1,974枚であった(回収率: 99%)。(5) 調査は昭和54年2月に実施した。

4. 予測値と実績値の詳細な比較は講演会において

発表するが、その概要を表-1のとおりである。

表-1 予測値と実績値の比較

	総来場者数	毎日来場者数	平日来場者数
予測値	180 万人	25 万人/日	3 万人/日
実績値	125 万人	10 万人/日	2~3 万人/日

また、来場者数の予測に用いたパラメータの概要は以下の表のとおりである。

表-2 来場者率

会場からの距離	来場する	来場しない	不明	同行人数
~20km	82%	3%	15%	4
~40km	79	3	18	
~60km	72	7	21	

表-3 天候の影響

会場からの距離	雨のため来場する	雨で来場しない		不明
		後日来場する	取りやめる	
~20km	5%	73%	5%	17%
~40km	5	71	3	21
~60km	5	68	5	22

表-4 来場者の内容

会場からの距離	交通手段	日曜日	土曜日	平日	お昼
~20km	マイカー利用	28%	7%	13%	6%
	バス利用	22	6	14	4
~40km	マイカー利用	25%	7%	13%	7%
	バス利用	23	5	14	6
~60km	マイカー利用	31%	4%	16%	5%
	バス利用	21	5	12	4

5. なお、本稿は愛知県が実施した「国際児童年集 中行事のための青少年公園交通対策調査」の一部を再検討したものである。執筆・発表の間は機関に感謝の意を表す。